

言葉で伝え合おう

令和3年6月
静岡市立南中学校
学校だより6月号

「頑張る姿勢は人を励まし元気を与える」

校長 長尾 剛史

「いける（勝てる）と思っていたら？」「絶対勝てると思っていました（^^）」

接戦を繰り広げる選手ら―静岡市葵区の西ヶ谷球場



静岡橋ライオンズクラブ（L.C.）旗争奪静岡市中学校野球大会の決勝戦が8日、静岡市葵区の西ヶ谷球場で行われた。長田南が3対2で静岡南を下して優勝した。
選手たちはチームメイトや保護者から熱い声援が飛び交う中、延長戦に突入する接戦を繰り広げた。大会は同L.C.が年1度行っているが、昨年は新型コロナウイルスの影響で中止したため2年ぶりの開催。市内20校から16チームが出場した。

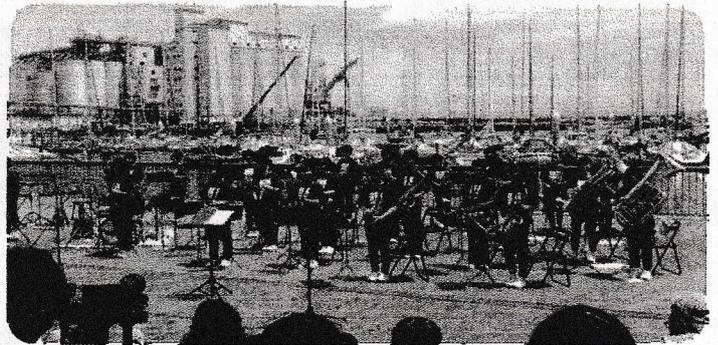
長田南、接戦制しV

静岡市中学校野球2年ぶり開催

静岡新聞5月9日朝刊より

野球部がライオンズ杯の決勝戦に挑むと聞き、西ヶ谷球場に向かいました。結果は新聞記事のとおり2対3と惜敗しましたが、ゲーム終盤には、南中が先に相手を追い込む状況をつくっていました。何より感激したことは、この日登板した投手八木秀祐くんをはじめ、選手全員が落ち着いて堂々と戦ったことでした。試合前は、対戦相手である長田南中の方が優勢とする評が優位だったようですが、そんな空気は微塵（みじん）もありません。受けの姿勢を見せず立ち向かいました。両チームの鍛えられたプレイで、試合はテンポよく進み、スタンドから称賛の拍手が送られます。私は6回表までしか観戦できなかったのですが、成長する姿に満足し、次の目的地である清水ドリームプラザに向かいました。

五月晴れの清水ドリームプラザに到着しました。吹奏楽部がステージに招待され、演奏の機会を提供していただいていたのです。一般のお客様の前での演奏は本当に久しぶりのことです。どんな表情で演奏するかとても楽しみでした。この日は、爽やかな海風が吹き込み、外にいただけで幸せな気分です。季節感を味わうお客様が、南中吹奏楽部の演奏に足を止め、手拍子をくださいます。初めは硬かった表情も、演奏が進むにつれて笑顔が増えていきます。演奏者が笑顔になれば、お客様も笑顔になります。アンコール曲「sing sing sing」が始まると、ノリノリで手拍子をくださいました。



コロナ禍にあり、つかの間の開放感を体で感じています。お客様は、間違いなく南中吹奏楽部の演奏に癒され励まされていました。私は、「うちの生徒が市民の励みになっている！」と感激してしまいました。

この日は、野球部にしても吹奏楽部にしても、多くの人たちに励ましや癒しを提供する役割を果たしました。本人たちにしてみれば、好きなことをしているだけと思っていたかもしれません。しかしそれは違います。頑張る姿「姿勢」は、人を励まし元気を与えるのです。よく頑張りました！

さて、5月17日からの学年時間割週間では、1年:学区探訪、2年:上級学校訪問、3年:修学旅行と、どの学年も校外活動を実施しました。こうした学校行事で得た成果を、今後の教育活動にさらに生かしたいと考えています。保護者の皆さまには、引き続き、ご理解とご支援をいただきますよう宜しくお願い致します。